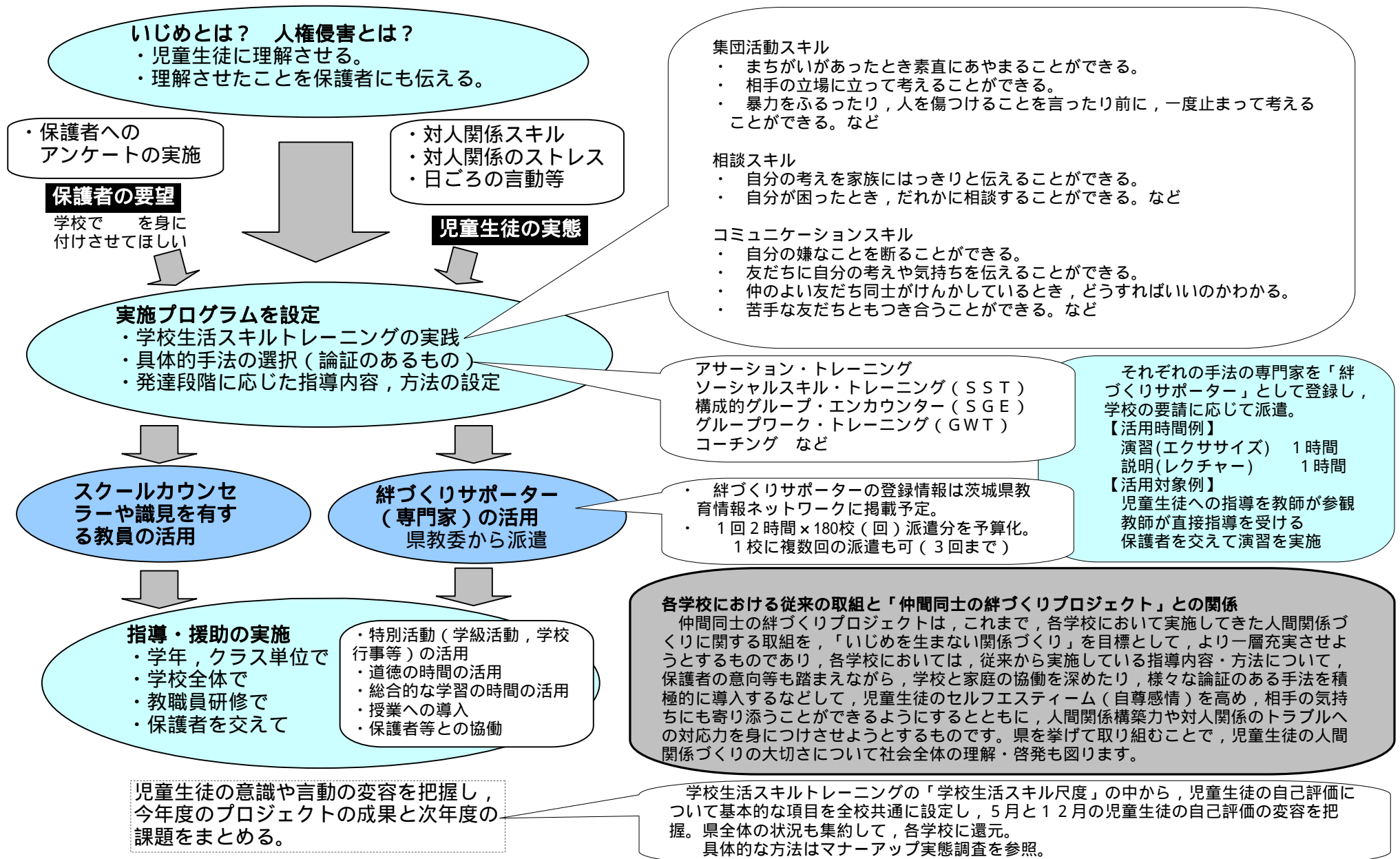


# 仲間同士の絆づくりプロジェクト：小中学校共通実践例

義務教育課



# 仲間同士の絆づくりプロジェクト

いじめ問題をはじめとする対人関係の深刻なトラブルが発生しないよう、児童生徒相互、児童生徒と教職員相互の信頼関係や好ましい人間関係の醸成を図ります。

- 1 仲間同士の絆づくりを促進するための指導・援助の実践
  - ・ 対象 全公立小・中学校の全児童生徒
  - ・ 内容  
アサーショントレーニング、ソーシャルスキルトレーニング、構成的グループ・エンカウンター、コーチングなど、論証のある様々な手法を積極的に活用して、学校生活スキルトレーニング（県教育研修センター研究開発）における集団生活スキル、コミュニケーションスキル、相談スキル等の人間関係に関するスキルを児童生徒に身に付け、児童生徒相互、児童生徒と教職員相互の人間関係の醸成を図ります。
- 2 指導・援助を行う学校・教職員の支援
  - ・ 対象 公立小・中学校（原則）
  - ・ 内容  
人間関係づくりに関する専門的知識を有する臨床心理士、大学教授等、幅広い人材を絆づくりサポーターとして登録し、学校等からの要請に応じて派遣します。
  - ・ 派遣校（回）数 180校（回）
  - ・ 派遣内容 1回2時間

- 3 友達相談活動指導者研修会の開催
  - ・ 対象 各市町村指導主事  
各教育事務所生徒指導班指導主事
  - ・ 内容  
友達相談活動の実践と定着化を図るため、好ましい人間関係づくりの論証ある手法の実践及び理論の研修を行い、各市町村の公立中学校への普及を図ります。

友達相談活動未実施校は「いじめを生まない関係づくり」を実践上のテーマとします。  
 友達相談活動既実施校は「いじめを生まない関係づくり」とともに「支え合いから学び合い」を実践上のテーマとします。

## プロジェクトの実施例

